

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

(退職給付引当金)

役職員の退職給付の支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,527,930	64,951,760	61,055,860	34,423,830
投資有価証券	2,969,472,070	100,298,500	104,194,400	2,965,576,170
小 計	3,000,000,000	165,250,260	165,250,260	3,000,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	6,353,000	1,324,000	0	7,677,000
事業継続安定化資産	101,180,200	0	101,180,200	0
小 計	107,533,200	1,324,000	101,180,200	7,677,000
合 計	3,107,533,200	166,574,260	266,430,460	3,007,677,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：
円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	34,423,830	(34,423,830)	(-)	(-)
投資有価証券	2,965,576,170	(2,965,576,170)	(-)	(-)
小 計	3,000,000,000	(3,000,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当預金	7,677,000	(-)	(-)	(7,677,000)
小 計	7,677,000	(0)	(0)	(7,677,000)
合 計	3,007,677,000	(3,000,000,000)	(0)	(7,677,000)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
(基本財産)			
第 293 回利付国債	100,000,000	100,413,000	413,000
三菱東京 UFJ 銀行第 101 回社債	100,000,000	100,526,000	526,000
三菱東京 UFJ 銀行第 7 回期限付劣後社債	100,000,000	103,492,000	3,492,000
三菱東京 UFJ 銀行第 9 回期限付劣後社債	100,770,947	104,460,000	3,689,053
三菱東京 UFJ 銀行第 32 回期限付劣後社債	100,000,000	104,882,000	4,882,000
第 62 回三井物産社債	101,907,323	108,067,000	6,159,677
第 61 回利付国債	198,514,700	210,980,000	12,465,300
三菱東京 UFJ 銀行第 32 回期限付劣後社債	101,052,800	104,882,000	3,829,200
三菱東京 UFJ 銀行第 32 回期限付劣後社債	202,047,100	209,764,000	7,716,900
三菱東京 UFJ 銀行第 32 回期限付劣後社債	100,821,100	104,882,000	4,060,900
BTMU キュラーホールディングスユーロ円建期限付劣後債	100,000,000	103,901,000	3,901,000
三菱東京 UFJ 銀行第 35 回期限付劣後社債	101,453,100	105,310,000	3,856,900
第 35 回日本郵船社債	100,427,100	103,774,000	3,346,900
第 14 回旭硝子社債	100,426,800	104,388,000	3,961,200
第 11 回三菱 UFJ 信託銀行社債 (劣後特約付)	101,991,300	105,174,000	3,182,700
第 89 回住友不動産社債	101,469,000	104,310,000	2,841,000
第 98 回丸紅社債	201,957,300	208,880,000	6,922,700
第 4 回三越伊勢丹ホールディングス社債	101,829,400	104,180,000	2,350,600
第 97 回住友不動産社債	100,641,900	103,530,000	2,888,100
第 334 回利付国債	50,266,300	52,125,000	1,858,700
モルガン・スタンレー ユーロ円債ステップアップ債	100,000,000	98,113,000	▲1,887,000
BPCE 第 7 回円貨社債	100,000,000	106,490,000	6,490,000
BPCE 第 8 回円貨社債	100,000,000	103,660,000	3,660,000
第 4 回 MUFG 永久劣後債	100,000,000	101,331,000	1,331,000
第 5 回 MUFG 永久劣後債	200,000,000	205,524,000	5,524,000
三菱 UFJ フィナンシャルグループ 第 7 回無担保永久社債	100,000,000	102,109,000	2,109,000
基本財産小計	2,965,576,170	3,065,147,000	99,570,830
合 計	2,965,576,170	3,065,147,000	99,570,830

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	148,785	148,784	1
合 計	148,785	148,784	1

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息(指定)	37,824,301
合 計	37,824,301

7. 金融商品の状況に関する注記

(1) 金融商品に対する取組方針

当財団は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券及び定期預金により資産運用します。尚、外貨建運用及びデリバティブ取引は行わない方針としています。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

債券発行体の信用リスクについては、定期的に把握し、理事会に報告します。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

金融商品の取引は、当財団の資産運用規程に基づき行います。資産運用規程の改定には、理事会の承認を要します。